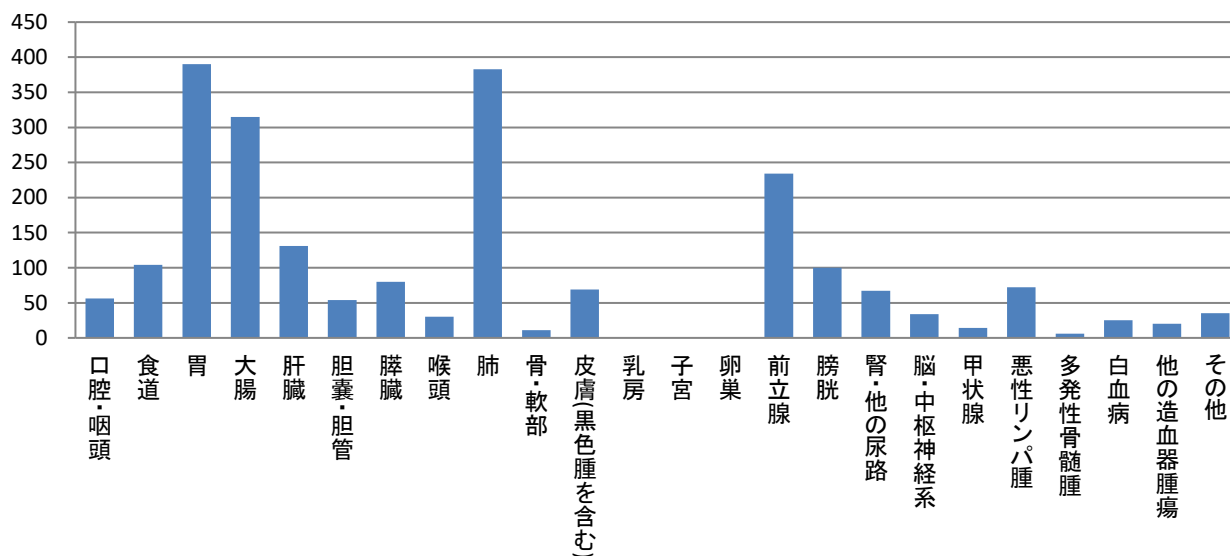


1. 性別・部位別登録数と割合

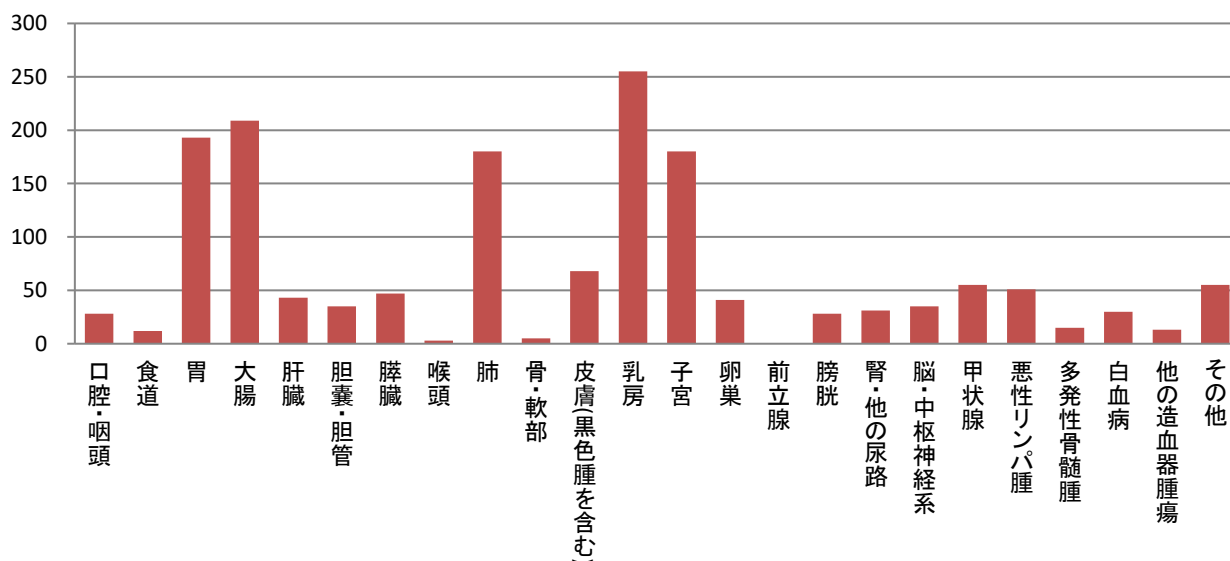
診断日: 2010年1月1日 ~ 2010年12月31日

登録数は、多い方から、男性では、胃、肺、大腸、前立腺、肝臓、女性では、乳房、大腸、胃、肺、子宮の順となる。
割合は、男性が58%、女性が42%で男性が多い。

部位別登録数(男性)



部位別登録数(女性)



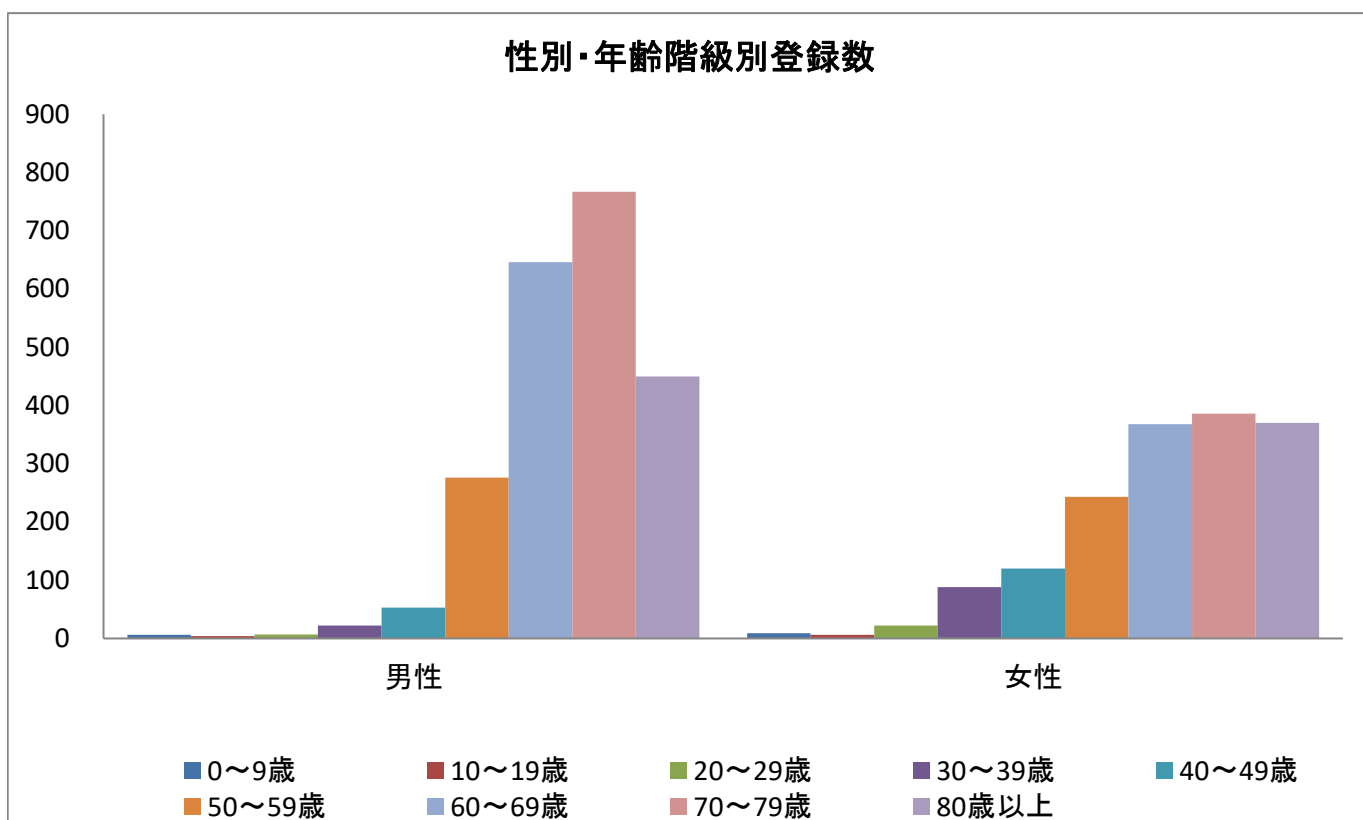
	登録数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
口腔・咽頭	56	28	84	67%	33%	100%
食道	104	12	116	90%	10%	100%
胃	390	193	583	67%	33%	100%
大腸	315	209	524	60%	40%	100%
肝臓	131	43	174	75%	25%	100%
胆嚢・胆管	54	35	89	61%	39%	100%
膵臓	80	47	127	63%	37%	100%
喉頭	30	3	33	91%	9%	100%
肺	383	180	563	68%	32%	100%
骨・軟部	11	5	16	69%	31%	100%
皮膚(黒色腫を含む)	69	68	137	50%	50%	100%
乳房	1	255	256	0%	100%	100%
子宮	0	180	180	0%	100%	100%
卵巣	0	41	41	0%	100%	100%
前立腺	234	0	234	100%	0%	100%
膀胱	100	28	128	78%	22%	100%
腎・他の尿路	67	31	98	68%	32%	100%
脳・中枢神経系	34	35	69	49%	51%	100%
甲状腺	14	55	69	20%	80%	100%
悪性リンパ腫	72	51	123	59%	41%	100%
多発性骨髄腫	6	15	21	29%	71%	100%
白血病	25	30	55	45%	55%	100%
他の造血器腫瘍	20	13	33	61%	39%	100%
その他	35	55	90	39%	61%	100%
合計	2,231	1,612	3,843	58%	42%	100%

2. 性別・年齢階級別登録数

診断日：2010年1月1日 ～ 2010年12月31日

男性では、60歳代と70歳代にピークが見られる。
女性では、60歳代までは加齢とともに増加する傾向が見られるが、60歳代、70歳代、80歳以上はほぼ同数で横ばい状態を示す。

	男性	女性	計
0～9歳	6	9	15
10～19歳	4	6	10
20～29歳	7	22	29
30～39歳	22	88	110
40～49歳	53	120	173
50～59歳	276	243	519
60～69歳	646	368	1,014
70～79歳	767	386	1,153
80歳以上	450	370	820



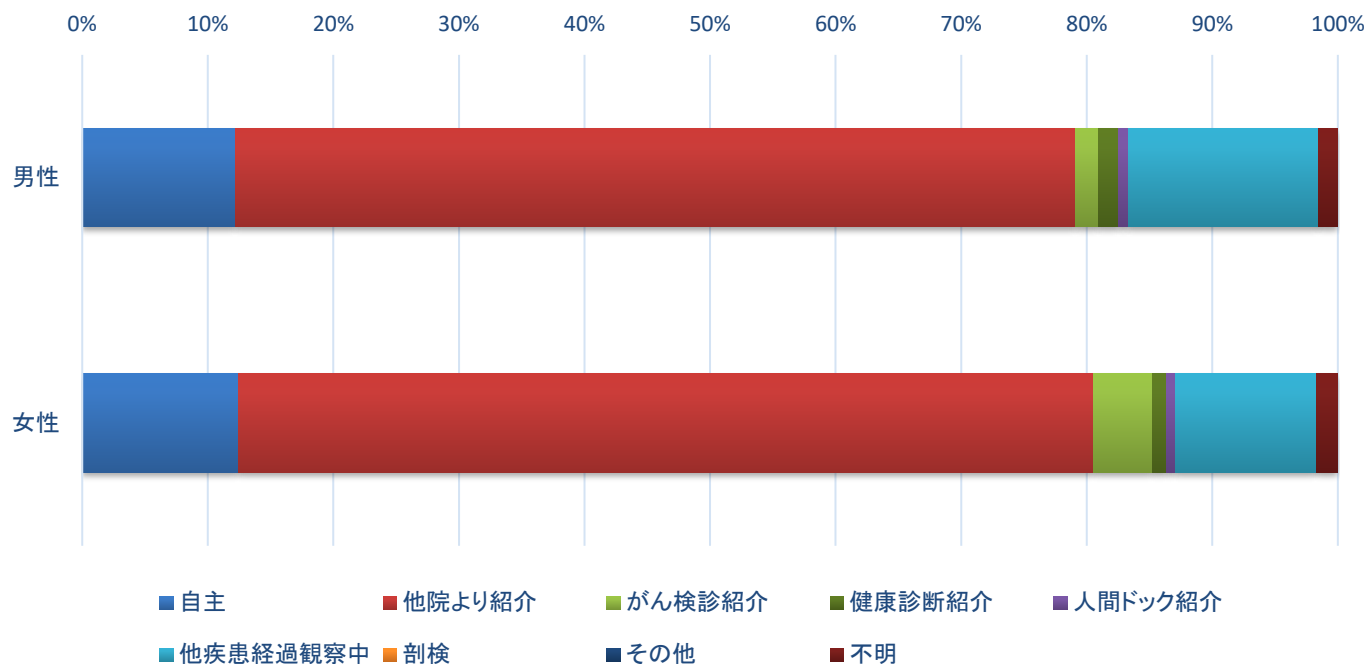
3. 来院経路別登録数と割合

診断日:2010年1月1日 ~ 2010年12月31日

来院経路は、多い方から「他院より紹介」が男女とも6割強を占め、次いで「他疾患経過観察中」、「自主」の来院が1割強で、「がん検診」、「人間ドック」、「健康診断」の紹介による来院は少ない。

	自主	他院より紹介	がん検診紹介	健康診断紹介	人間ドック紹介	他疾患経過観察中	剖検	その他	不明	合計
男性	272	1,493	41	36	17	337	0	1	34	2,231
女性	200	1,098	76	18	11	181	0	1	27	1,612
男性	12%	67%	2%	2%	1%	15%	0%	0%	2%	100%
女性	12%	68%	5%	1%	1%	11%	0%	0%	2%	100%

来院経路別割合

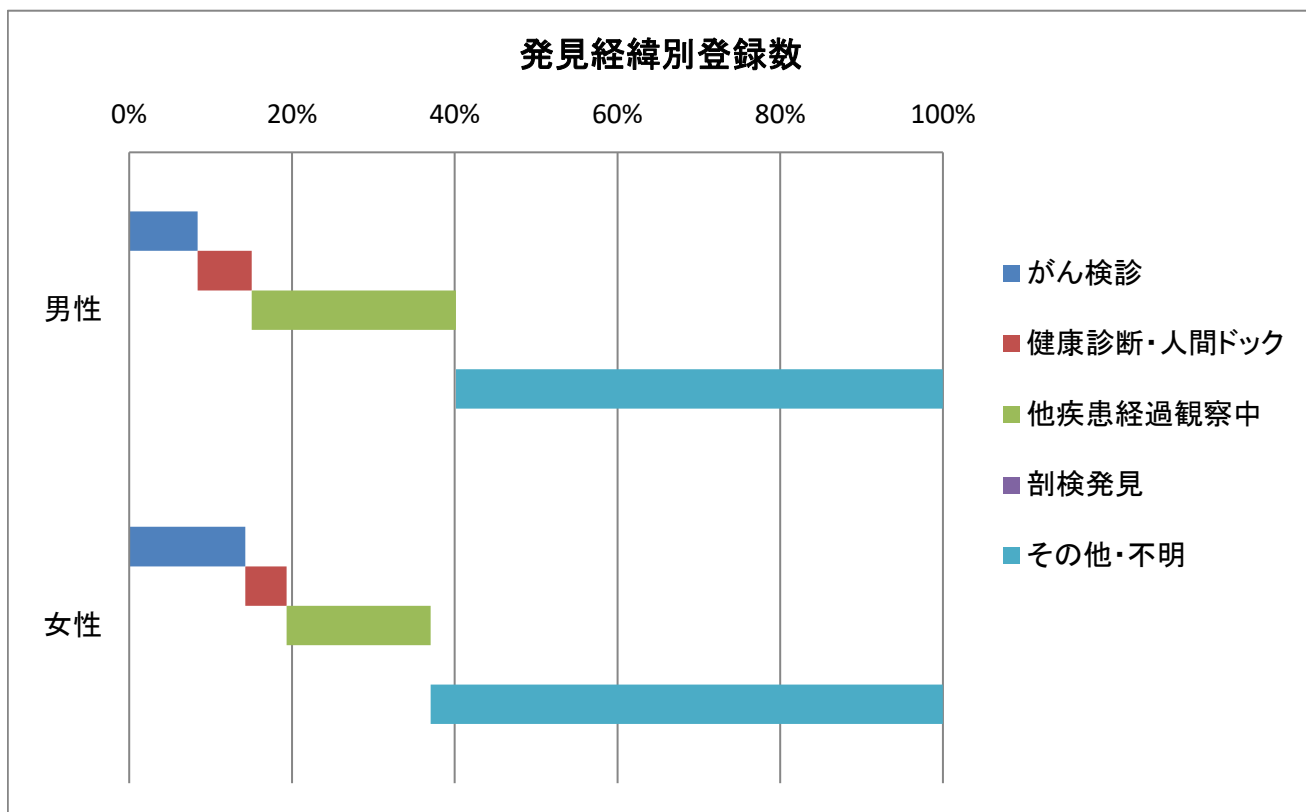


4. 発見経緯別登録数と割合

診断日：2010年1月1日 ～ 2010年12月31日

発見経緯は、「その他・不明」を除くと、多い方から「他疾患経過観察中」が20%前後で最も多く、「がん検診」や「健康診断・人間ドック」によるものはそれぞれ10%前後で少ない。「その他・不明」が約半数を占めるのを考慮する必要がある。

	がん検診	健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中	剖検発見	その他・不明	合計
男性	188	148	560	0	1,335	2,231
女性	230	82	285	0	1,015	1,612
男性	8%	7%	25%	0%	60%	100%
女性	14%	5%	18%	0%	63%	100%



5. 部位別各種集計結果のまとめ

部位： 胃

診断日： 2010/01/01 ~ 2010/12/31

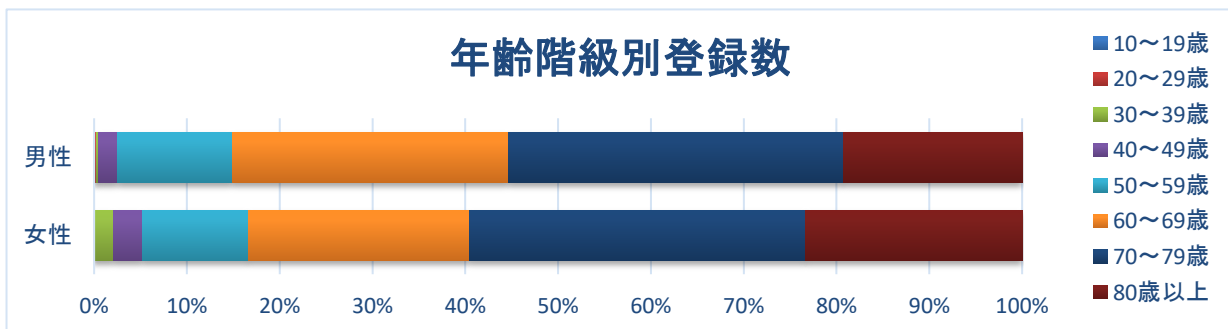
胃がんは、60歳以上が男女とも80%強を占め、男女とも70歳代が最も多い。

ステージ別には、I期が58%と6割弱を占め、II期、III期は7%、6%に減少、IV期は17%と増加する。

ステージ別に治療方法を観察すると、I期では「手術のみ」、「内視鏡のみ」の治療が85%でほとんどを占めるが、II期、III期では「手術のみ」と「手術/内視鏡+薬物療法」が合わせて80%強と増加し、IV期では、「薬物療法のみ」、「手術/内視鏡+薬物療法」と「治療なし」で80%強を占める。

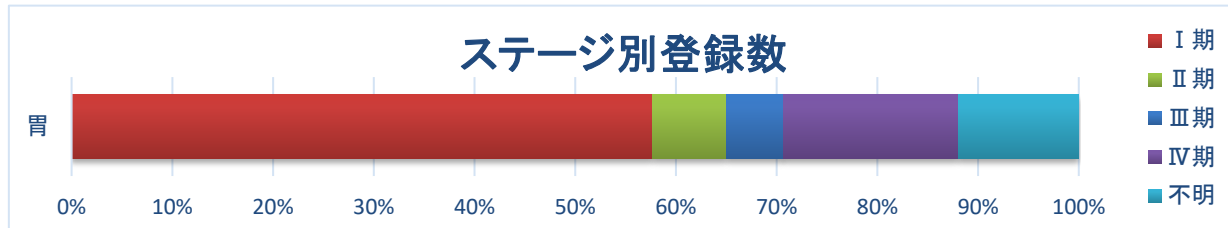
1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10～19歳	0	0
20～29歳	1	0
30～39歳	1	4
40～49歳	8	6
50～59歳	48	22
60～69歳	116	46
70～79歳	141	70
80歳以上	75	45
合計	390	193



2. ステージ別登録数

	件数	割合
I期	333	58%
II期	42	7%
III期	33	6%
IV期	100	17%
不明	69	12%
合計	577	100%

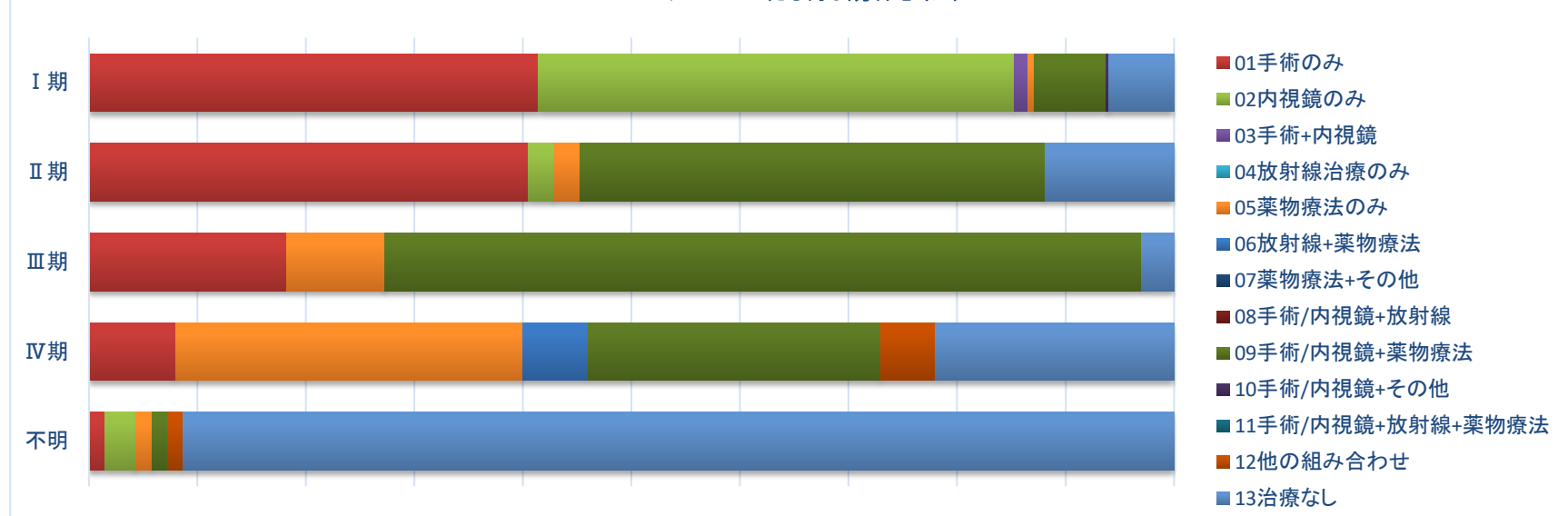


3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	I期	II期	III期	IV期	不明	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	138	17	6	8	1	41%	40%	18%	8%
02内視鏡のみ	146	1	0	0	2	44%	2%	0%	0%
03手術+内視鏡	4	0	0	0	0	1%	0%	0%	0%
04放射線治療のみ	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
05薬物療法のみ	2	1	3	32	1	1%	2%	9%	32%
06放射線+薬物療法	0	0	0	6	0	0%	0%	0%	6%
07薬物療法+その他	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
08手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	22	18	23	27	1	7%	43%	70%	27%
10手術/内視鏡+その他	1	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
12他の組み合わせ	0	0	0	5	1	0%	0%	0%	5%
13治療なし	20	5	1	22	63	6%	12%	3%	22%
合計	333	42	33	100	69	100%	100%	100%	100%

ステージ別治療方法



5. 部位別各種集計結果のまとめ

部 位： 大腸

診断日： 2010/01/01 ~ 2010/12/31

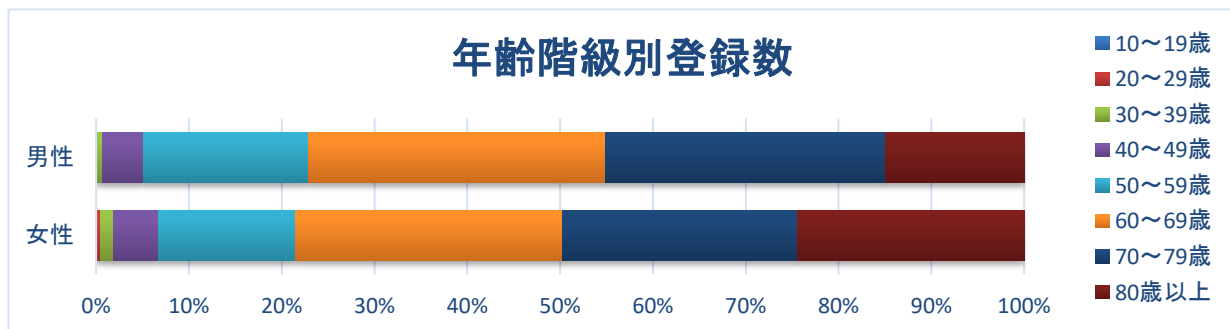
大腸がんは、60歳以上が男女とも80%弱を占め、男女とも60歳代が最も多い。

ステージ別には、0期が14%、I期からIV期までは、いずれも20%前後を占め、ステージによる違いは見られない。

ステージ別に治療方法を観察すると、0期では「内視鏡のみ」が90%を占め、「手術のみ」は7%と少ない。I期では「手術のみ」が53%に増加し、「内視鏡のみ」は25%、「手術/内視鏡+薬物療法」は11%を占めるが、II期、III期では「内視鏡のみ」は0%となり、「手術/内視鏡+薬物療法」が37%、53%に増加、「手術のみ」の59%、38%と合わせると90%強を占める。IV期では「手術のみ」は14%に減少し、「薬物療法のみ」と「手術/内視鏡+薬物療法」が合わせて70%弱を占める。

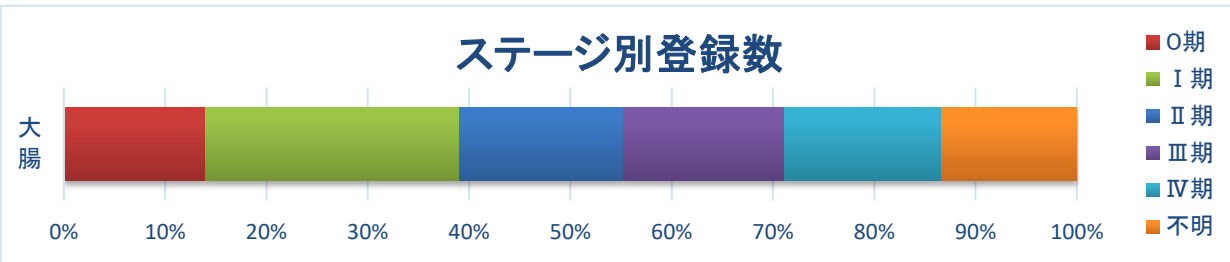
1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10～19歳	0	0
20～29歳	0	1
30～39歳	2	3
40～49歳	14	10
50～59歳	56	31
60～69歳	101	60
70～79歳	95	53
80歳以上	47	51
合計	315	209



2. ステージ別登録数

	件数	割合
0期	71	14%
I期	128	25%
II期	82	16%
III期	81	16%
IV期	79	16%
不明	68	13%
合計	509	100%

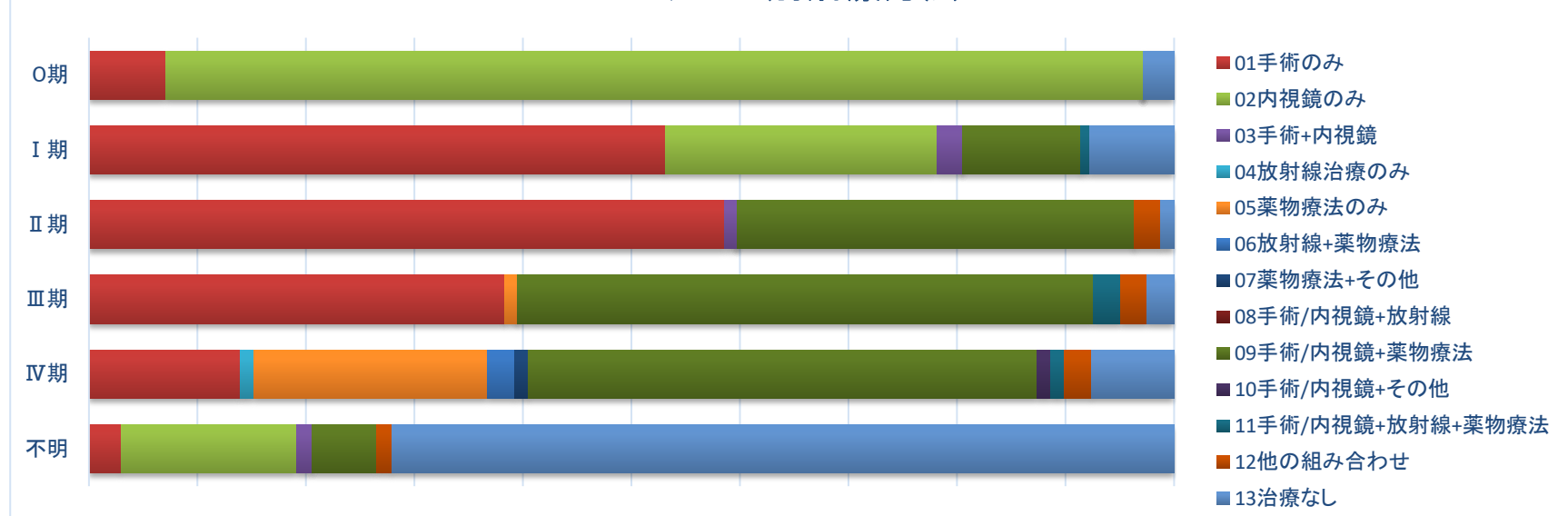


3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	0期	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	5	68	48	31	11	2	7%	53%	59%	38%	14%
02内視鏡のみ	64	32	0	0	0	11	90%	25%	0%	0%	0%
03手術+内視鏡	0	3	1	0	0	1	0%	2%	1%	0%	0%
04放射線治療のみ	0	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	0%	1%
05薬物療法のみ	0	0	0	1	17	0	0%	0%	0%	1%	22%
06放射線+薬物療法	0	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	0%	3%
07薬物療法+その他	0	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	0%	1%
08手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	0	14	30	43	37	4	0%	11%	37%	53%	47%
10手術/内視鏡+その他	0	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	0%	1%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	1	0	2	1	0	0%	1%	0%	2%	1%
12他の組み合わせ	0	0	2	2	2	1	0%	0%	2%	2%	3%
13治療なし	2	10	1	2	6	49	3%	8%	1%	2%	8%
合計	71	128	82	81	79	68	100%	100%	100%	100%	100%

ステージ別治療方法 (Stage-specific Treatment Methods)



5. 部位別各種集計結果のまとめ

部 位: 肝臓

診断日: 2010/01/01 ~ 2010/12/31

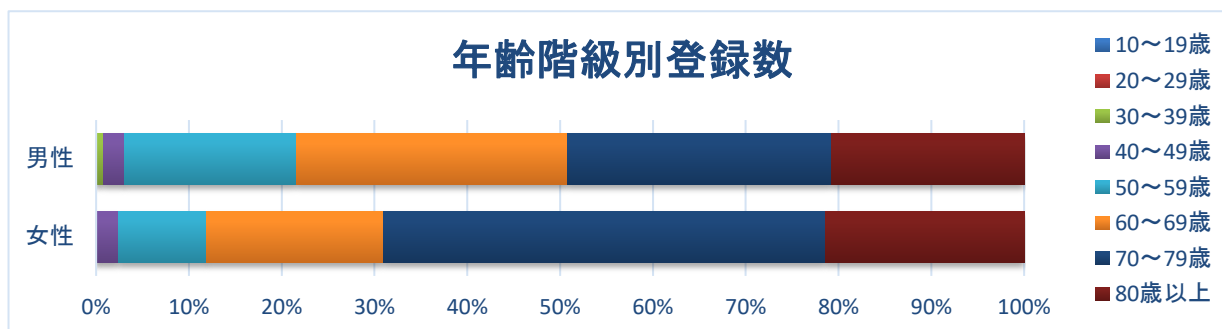
肝臓がんは、男女とも60歳以上が80%~90%前後を占め、男性では60歳代、女性では70歳代が最も多い。

ステージ別には、I期とII期で57%と6割弱を占めるが、III期は26%、IV期は11%と減少する。

ステージ別の治療方法を観察すると、I期では「他の組み合わせ」が40%強、「手術のみ」と「薬物療法+その他」と合わせて約90%を占める。II期、III期では「他の組み合わせ」が減少し、「薬物療法のみ」と「治療なし」が増加、「手術のみ」、「薬物療法+その他」は大きな変化は見られない。IV期では「治療なし」が47%に増加、「手術のみ」は0%に減少、「薬物療法のみ」と「他の組み合わせ」が合わせて40%強となる。

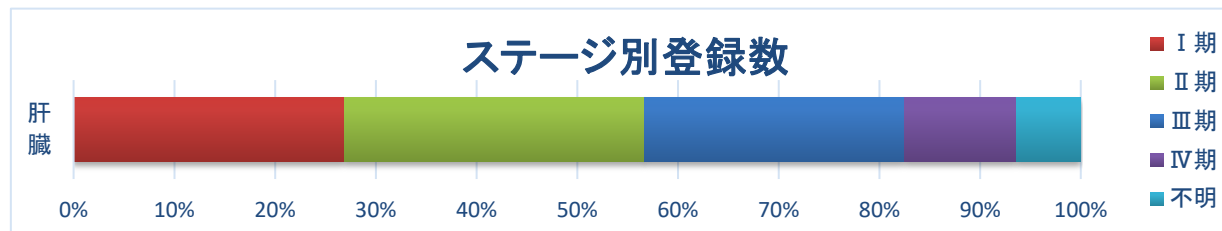
1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10~19歳	0	0
20~29歳	0	0
30~39歳	1	0
40~49歳	3	1
50~59歳	24	4
60~69歳	38	8
70~79歳	37	20
80歳以上	27	9
合計	130	42



2. ステージ別登録数

	件数	割合
I期	46	27%
II期	51	30%
III期	44	26%
IV期	19	11%
不明	11	6%
合計	171	100%

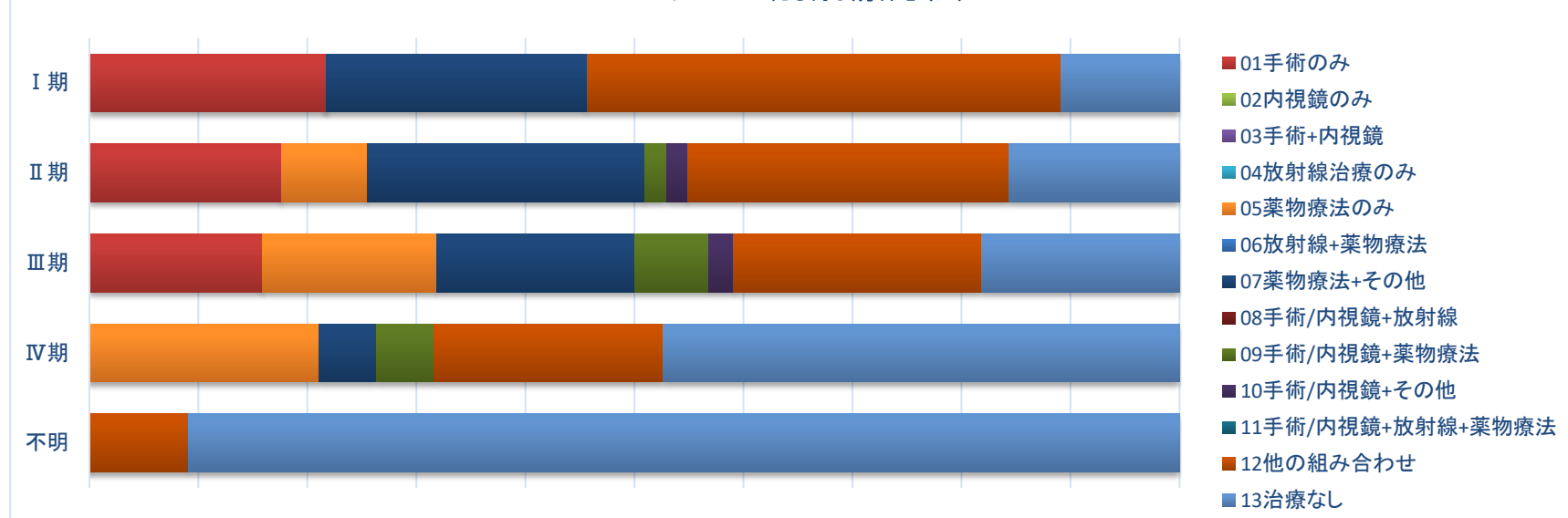


3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	I期	II期	III期	IV期	不明	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	10	9	7	0	0	22%	18%	16%	0%
02内視鏡のみ	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
03手術+内視鏡	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
04放射線治療のみ	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
05薬物療法のみ	0	4	7	4	0	0%	8%	16%	21%
06放射線+薬物療法	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
07薬物療法+その他	11	13	8	1	0	24%	25%	18%	5%
08手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	0	1	3	1	0	0%	2%	7%	5%
10手術/内視鏡+その他	0	1	1	0	0	0%	2%	2%	0%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
12他の組み合わせ	20	15	10	4	1	43%	29%	23%	21%
13治療なし	5	8	8	9	10	11%	16%	18%	47%
合計	46	51	44	19	11	100%	100%	100%	100%

ステージ別治療方法



5. 部位別各種集計結果のまとめ

部位： 肺

診断日： 2010/01/01 ~ 2010/12/31

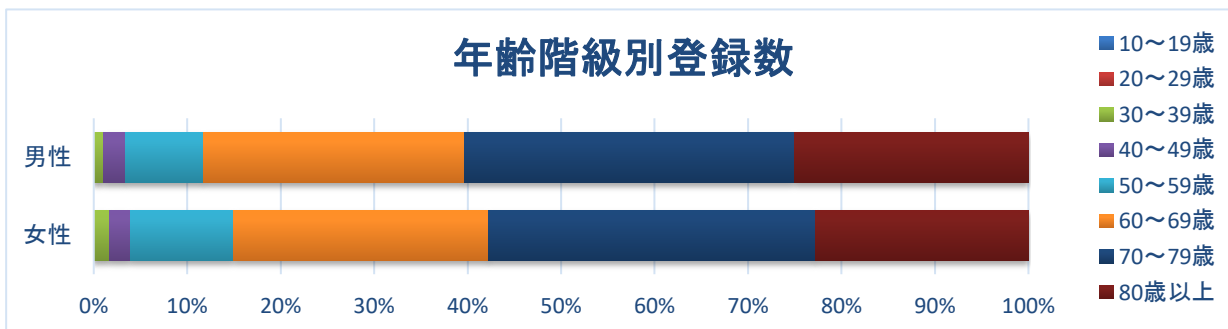
肺がんは、男女とも60歳以上が90%前後を占め、男女とも70歳代が最も多い。

ステージ別には、I期は39%、II期は5%、III期は23%、IV期は29%で、III期とIV期を合わせると50%強を占める。

ステージ別の治療方法を観察すると、I期では「手術のみ」が59%で最も多く、「手術/内視鏡+薬物療法」が30%で合わせて9割弱を占める。II期、III期、IV期と進行に伴って、「手術のみ」は減少し、「薬物療法のみ」は17%から46%に増加する。IV期では「放射線+薬物療法」が14%、「治療なし」が25%に増加する。

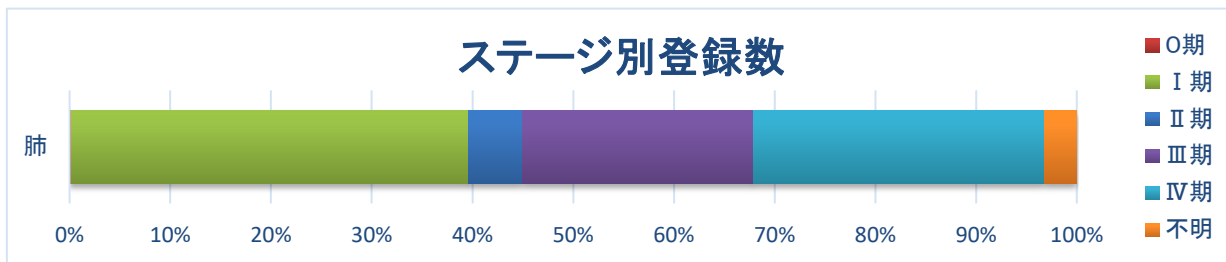
1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10~19歳	0	0
20~29歳	0	0
30~39歳	4	3
40~49歳	9	4
50~59歳	32	20
60~69歳	107	49
70~79歳	135	63
80歳以上	96	41
合計	383	180



2. ステージ別登録数

	件数	割合
0期	1	0%
I期	221	39%
II期	30	5%
III期	128	23%
IV期	162	29%
不明	18	3%
合計	560	100%

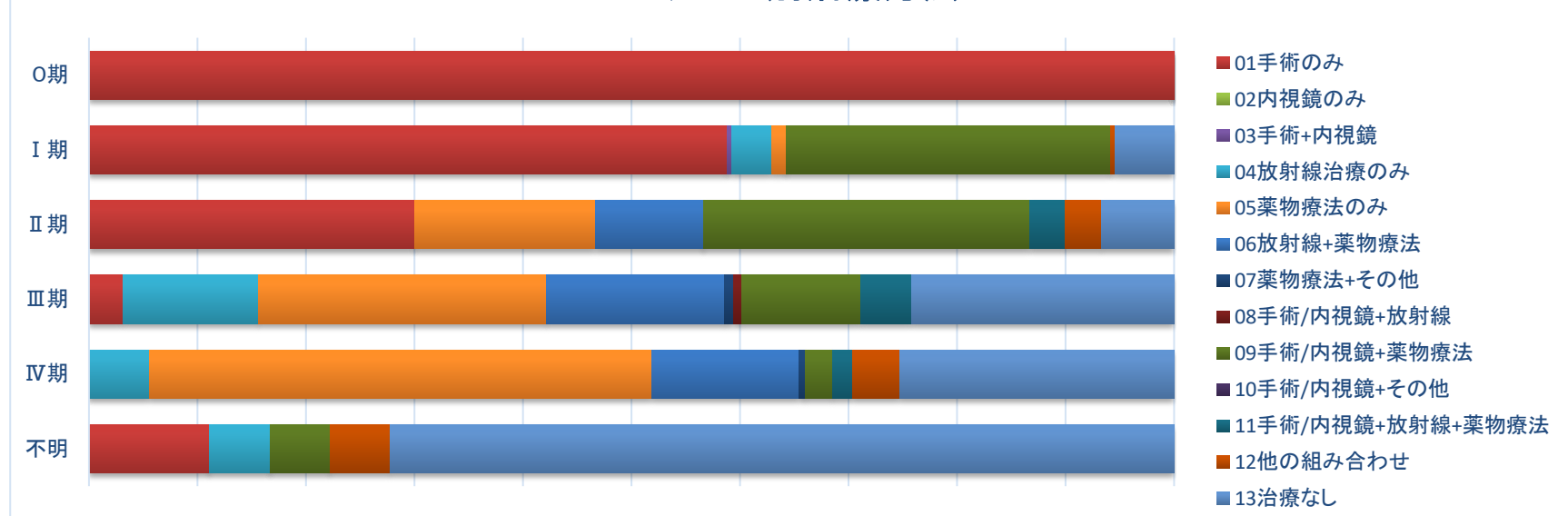


3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	0期	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	1	130	9	4	0	2	100%	59%	30%	3%	0%
02内視鏡のみ	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
03手術+内視鏡	0	1	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
04放射線治療のみ	0	8	0	16	9	1	0%	4%	0%	13%	6%
05薬物療法のみ	0	3	5	34	75	0	0%	1%	17%	27%	46%
06放射線+薬物療法	0	0	3	21	22	0	0%	0%	10%	16%	14%
07薬物療法+その他	0	0	0	1	1	0	0%	0%	0%	1%	1%
08手術/内視鏡+放射線	0	0	0	1	0	0	0%	0%	0%	1%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	0	66	9	14	4	1	0%	30%	30%	11%	2%
10手術/内視鏡+その他	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	0	1	6	3	0	0%	0%	3%	5%	2%
12他の組み合わせ	0	1	1	0	7	1	0%	0%	3%	0%	4%
13治療なし	0	12	2	31	41	13	0%	5%	7%	24%	25%
合計	1	221	30	128	162	18	100%	100%	100%	100%	100%

ステージ別治療方法



5. 部位別各種集計結果のまとめ

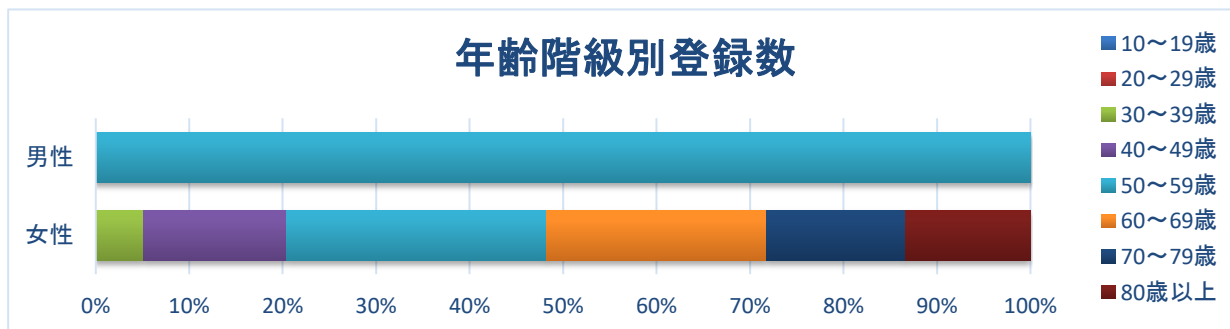
部 位： 乳房

診断日： 2010/01/01 ~ 2010/12/31

乳がんは、男性に1名あるが、女性がほとんどで、50歳代と60歳代にピークがある。
この傾向は、子宮がんと同様に女性特有の性器がんの特徴として観察される。
ステージ別には、0期は4%、I期とII期で72%と大半を占めるが、III期とIV期はともに7%と少ない。
ステージ別の治療方法を観察すると、すべてのステージで「手術のみ」と「治療なし」(0期以外)はともに10%前後で少ない。0期では「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」が33%、「手術/内視鏡+放射線」、「治療なし」がともに22%で多様である。I期、II期では「手術/内視鏡+薬物療法」が32%、49%と増加、「手術/内視鏡+薬物療法」が44%、33%と推移し、合わせて80%前後を占める。III期では「手術/内視鏡+薬物療法」が59%とさらに増加、IV期では「薬物療法のみ」が35%、薬物療法を含む治療と合わせると70%強を占める。

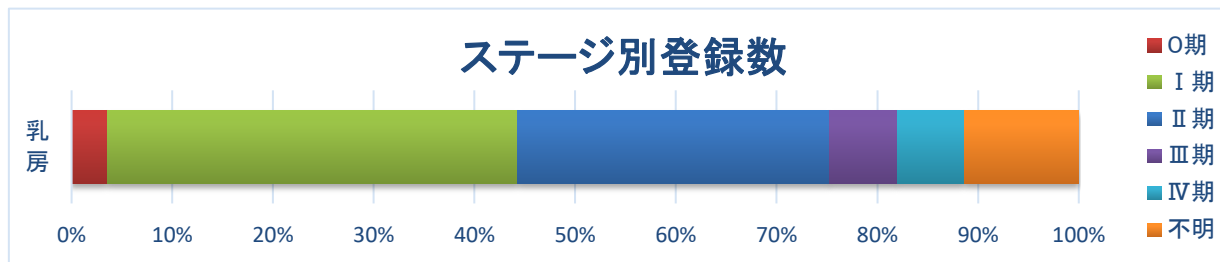
1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10~19歳	0	0
20~29歳	0	0
30~39歳	0	13
40~49歳	0	39
50~59歳	1	71
60~69歳	0	60
70~79歳	0	38
80歳以上	0	34
合計	1	255



2. ステージ別登録数

	件数	割合
0期	9	4%
I期	104	41%
II期	79	31%
III期	17	7%
IV期	17	7%
不明	29	11%
合計	255	100%

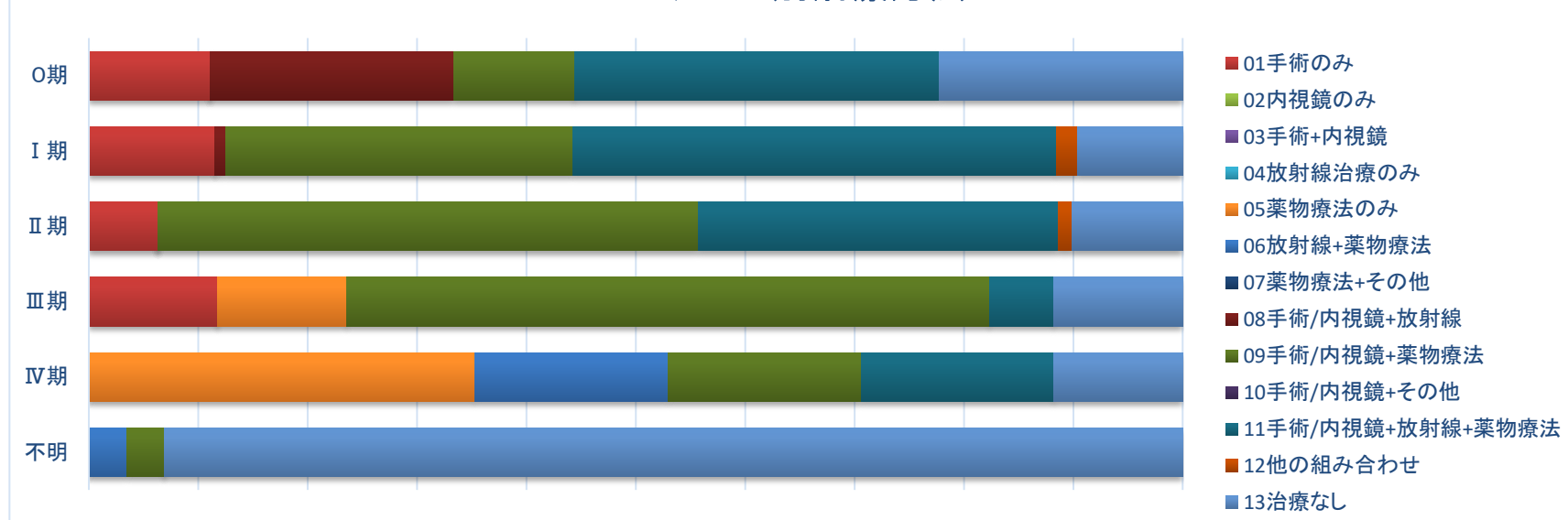


3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	0期	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	1	12	5	2	0	0	11%	12%	6%	12%	0%
02内視鏡のみ	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
03手術+内視鏡	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
04放射線治療のみ	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
05薬物療法のみ	0	0	0	2	6	0	0%	0%	0%	12%	35%
06放射線+薬物療法	0	0	0	0	3	1	0%	0%	0%	0%	18%
07薬物療法+その他	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
08手術/内視鏡+放射線	2	1	0	0	0	0	22%	1%	0%	0%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	1	33	39	10	3	1	11%	32%	49%	59%	18%
10手術/内視鏡+その他	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	3	46	26	1	3	0	33%	44%	33%	6%	18%
12他の組み合わせ	0	2	1	0	0	0	0%	2%	1%	0%	0%
13治療なし	2	10	8	2	2	27	22%	10%	10%	12%	12%
合計	9	104	79	17	17	29	100%	100%	100%	100%	100%

ステージ別治療方法



5. 部位別各種集計結果のまとめ

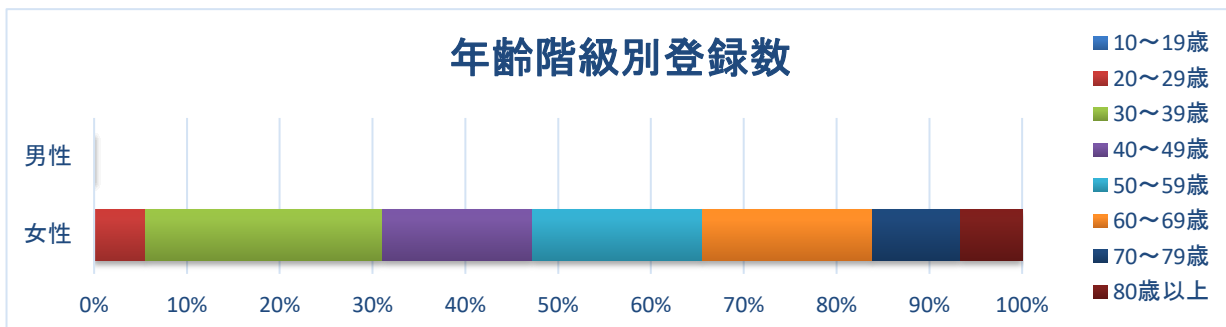
部 位： 子宮

診断日： 2010/01/01 ~ 2010/12/31

子宮がんは、他のがんと比べ発症年齢が低く、30歳代がピークで、40歳代で若干減り横ばい状態で推移し、70歳代からは減少する。ステージ別には、0期は36%、I期は37%と最も多く、次いでII期、III期は8%、12%と減少し、IV期は5%と最も少なくなる。ステージ別の治療方法を観察すると、0期では「手術のみ」がほとんどで97%、I期では「手術のみ」は64%、「手術/内視鏡+薬物療法」が17%、「治療なし」が14%となる。次いで、件数は少なくなるが、II期では、「放射線治療のみ」、「放射線+薬物療法」、「手術/内視鏡+薬物療法」がともに20%台に増加する。III期では、「放射線治療のみ」は5%に減少、「放射線+薬物療法」、「手術/内視鏡+薬物療法」がともに29%、「治療なし」が24%に増加する。IV期では、「治療なし」は25%に増加し、「放射線+薬物療法」、「手術/内視鏡+薬物療法」はやや減少するが、ともに25%を占める。

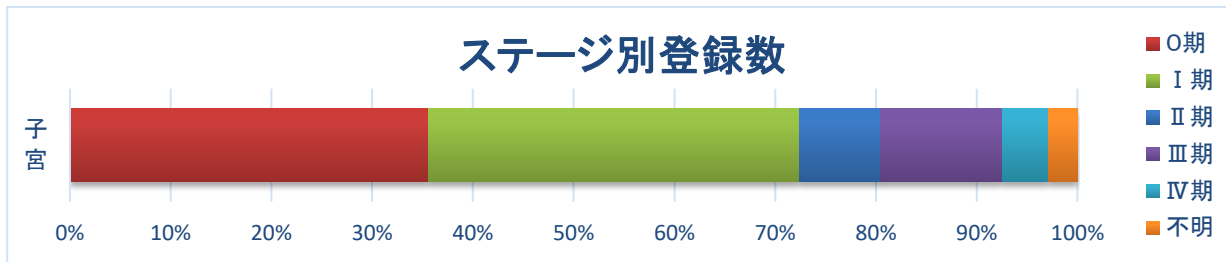
1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10~19歳	0	0
20~29歳	0	10
30~39歳	0	46
40~49歳	0	29
50~59歳	0	33
60~69歳	0	33
70~79歳	0	17
80歳以上	0	12
合計	0	180



2. ステージ別登録数

	件数	割合
0期	62	36%
I期	64	37%
II期	14	8%
III期	21	12%
IV期	8	5%
不明	5	3%
合計	174	100%

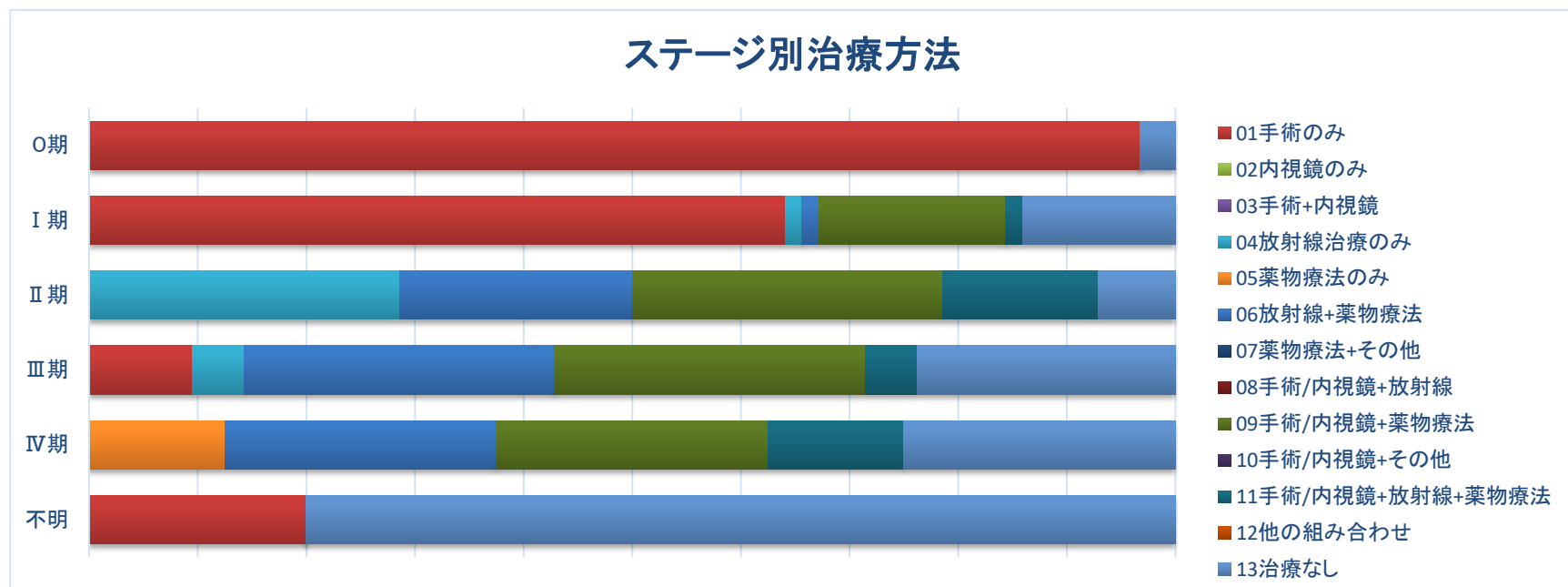


3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	0期	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	60	41	0	2	0	1	97%	64%	0%	10%	0%
02内視鏡のみ	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
03手術+内視鏡	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
04放射線治療のみ	0	1	4	1	0	0	0%	2%	29%	5%	0%
05薬物療法のみ	0	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	0%	13%
06放射線+薬物療法	0	1	3	6	2	0	0%	2%	21%	29%	25%
07薬物療法+その他	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
08手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	0	11	4	6	2	0	0%	17%	29%	29%	25%
10手術/内視鏡+その他	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	1	2	1	1	0	0%	2%	14%	5%	13%
12他の組み合わせ	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
13治療なし	2	9	1	5	2	4	3%	14%	7%	24%	25%
合計	62	64	14	21	8	5	100%	100%	100%	100%	100%

ステージ別治療方法



5. 部位別各種集計結果のまとめ

部 位: 前立腺

診断日: 2010/01/01 ~ 2010/12/31

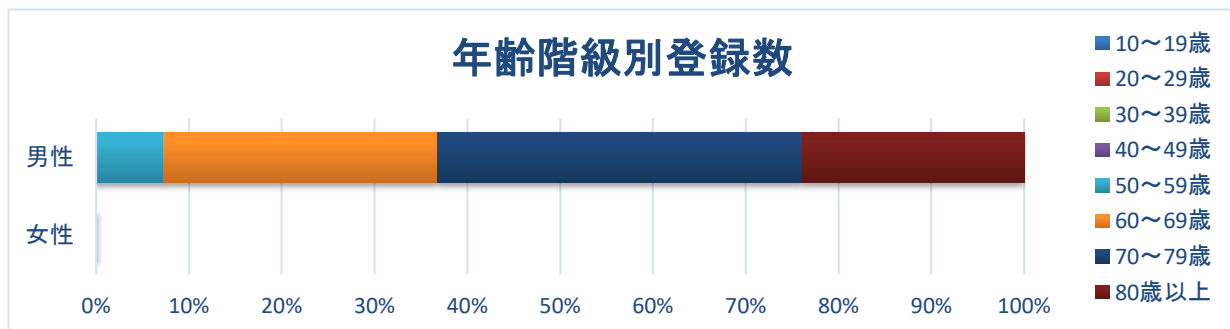
前立腺がんは、60歳以上がほとんどを占め、70歳代が最も多い。

ステージ別には、I期が1%で最も少なく、II期は64%で最も多く、III期で12%で、IV期は20%と増加する。

ステージ別の治療方法を観察すると、I期では「内視鏡のみ」と「治療なし」がともに1件ずつで50%、II期は「手術のみ」が24%、「薬物療法のみ」が25%、「放射線治療のみ」が17%を占める。III期、IV期では「薬物療法のみ」が61%、70%、「放射線+薬物療法」が21%、9%となり、合わせて80%前後を占めるようになる。

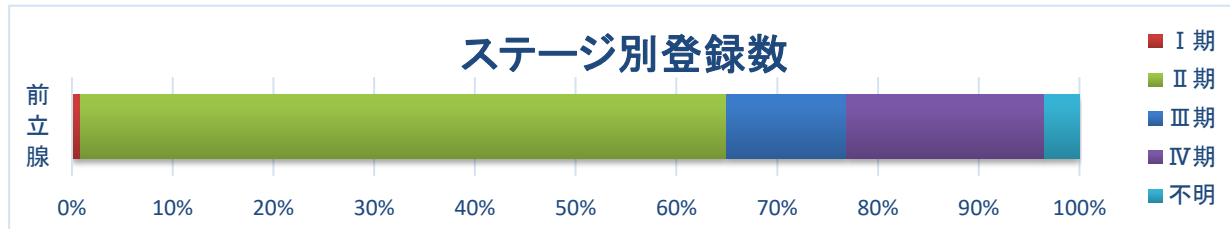
1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10～19歳	0	0
20～29歳	0	0
30～39歳	0	0
40～49歳	0	0
50～59歳	17	0
60～69歳	69	0
70～79歳	92	0
80歳以上	56	0
合計	234	0



2. ステージ別登録数

	件数	割合
I期	2	1%
II期	150	64%
III期	28	12%
IV期	46	20%
不明	8	3%
合計	234	100%



3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	I期	II期	III期	IV期	不明	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	0	36	0	1	0	0%	24%	0%	2%
02内視鏡のみ	1	0	0	0	1	50%	0%	0%	0%
03手術+内視鏡	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
04放射線治療のみ	0	25	0	0	1	0%	17%	0%	0%
05薬物療法のみ	0	38	17	32	0	0%	25%	61%	70%
06放射線+薬物療法	0	14	6	4	0	0%	9%	21%	9%
07薬物療法+その他	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	2%
08手術/内視鏡+放射線	0	0	1	0	0	0%	0%	4%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	0	10	0	2	0	0%	7%	0%	4%
10手術/内視鏡+その他	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	1	0	0	0	0%	1%	0%	0%
12他の組み合わせ	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
13治療なし	1	26	4	6	6	50%	17%	14%	13%
合計	2	150	28	46	8	100%	100%	100%	100%

ステージ別治療方法 (Stage-specific Treatment Methods)

